教育情報

イベントの中での子どもたち

桂川町教育委員会 教育長 佐谷 千香子

せん。 感を時々聞きます。が、そんな事はありま のことに真剣になれない。」という現代っ子 「今の子どもはつかみどころがない。一つ

桂川町の素晴らしい子どもたちのことを少 し紹介したいと思います。 今も昔も子どもは同じです そこで、イベントの中で私が出会った、

その一~土師の獅子舞の子どもたち

真っ赤でした。獅子の頭を持っていた生徒 頭をとった顔は二人とも汗びっしょりで、 足袋裸足です。足の裏は摩擦熱ですごかったび も太鼓に合わせて踊っていました。これら その笑顔は美しいものでした。また、太鼓 たでしょう。まだまだ暑い盛りです。獅子 参観しました。中学生が獅子頭を持ち、2 人で舞っていました。下はコンクリート。 9月3日、老松神社の秋祭りで獅子舞を 後ろ側に入っていた生徒もニッコリ。 小さな子どもたちも何回も何回

> を、地域の若い人たちが一生懸命に世話し てありました。

ナーも学びます。 生徒たちは先輩・後輩の関係や礼儀、 指導下さる方たちに感謝

そのニ~「古代の謎フェスティバル」での両小学校の参加

事に披露しました。何人もの先生方の引率 校は、3・4年生が「花笠音頭」の踊りを見 としないと美しさは輝きません。 でした。集団の美しさは夜の芝生に映えま 年生が「けいせんソーラン節」を、東小学 した。しかし、集団も一人ひとりがきちん 10月18日の前夜祭では、桂川小学校の6

その三~「ときめきウォークイン桂川」での完歩

仕組みが求められています。

も体力・精神力・根性が土台になると思い 張っています。今、話題になっている学力 のブラスバンドの演奏やいろんな場所での王 精神力・根性を養います。そのほか、中学校 塚太鼓での活躍など、地域のいろんな所で頑 ごしても一日は一日。完歩することで体力や 先生と共に見事に完歩しました。何と無く過 校の陸上部の生徒が、大人に交じって二人の 10月12日、20㎞という最長のコースを中学

り組みます。子どもたちが頑張ればほめて ください。 子どもたちはチャンスを得れば真剣に取

学校には今も昔も多くのことが求められ

未来を担う、

申し上げます。

激しい社会に対応するために、教育の質を 業してわずか五年の歳月の中で、新成人一 高め、社会全体で子どもたちを育てていく カ年の最後の日々を送っています。 それぞれの進路実現のために、義務教育 9 た。中学三年生も卒業まで二カ月を切り、 く変わってきています。その中で、変化の 人ひとりがそれぞれの人生を歩んでいまし さて、日本の教育はこの十年の間に大き 一月十二日は成人式でしたが、中学を卒

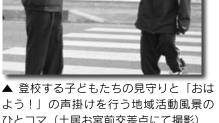
情報を発信しています。 で育てる」これこそがこの事業の目的であ こうとしています。「地域の子どもは地域 教育、子育てを、地域社会全体で行ってい ています。桂川町でも「生き生き桂川っ子」 学校、家庭、地域の連携・協力が強調され 計画」が策定され、福岡県では「教育力向 育成事業により、学校等だけに任せてきた 上県民運動」が始まりました。いずれも、 昨年、文部科学省により「教育振興基本 この「教育情報・桂川っ子」を通して

> 考えています。 る角度からの子どもたちへのアプローチ が、子どもたちを変えることにつながると メなものはダメ」という毅然とした地域の を育てるために、温かい見守りや支援、「ダ なったことも多くあります。今こそ、学校、 大人の対応が必要となっています。あらゆ てきましたが、学校だけでは対応が難 地域が連携して、地域全体で子ども

役割を確認したいと思います。 力の向上です。学校は、教育の質を高める 経済情勢の時期だからこそ、学校、 ことが求められています。世界的に厳しい 今、学校における最も重要な課題は、 学



登校する子どもたちの見守りと ひとコマ(土居お宮前交差点にて撮影)



心豊かでたくましい子どもたちを

—桂川中学校校長

山本 和生ー